

健康を科学する計測 × AI プラットフォーム の創出と事業化

開催日時：2021年10月14日（木）12:00-13:30（90分）

開催場所：パシフィコ横浜ノース

コーディネーター：関谷 毅氏（大阪大学 産業科学研究所教授）

概要

コロナ禍を経験し、新たなセンシングテクノロジーが注目されている。技術の進歩により、センサおよび検査機器類は小型・軽量化そして汎用化され、様々なデータを誰でも簡単に取得できるようになった。

本セッションでは、今後のヘルスケア産業振興のカギを握る「生体の微小信号計測技術の深耕・拡大」、「取得したデータの利活用」といった点で戦略性に富む製品・サービスに注目し、国内を代表する気鋭の研究者・経営者より最新の動向を講演いただく。

健康を科学する計測 × AI プラットフォームの創出と事業化

プログラム

- | | | | |
|----|------------------------------------|---|-----|
| 1. | 趣旨説明 | 関谷 毅 大阪大学産業科学研究所 教授 | 5分 |
| 2. | 基調講演 | 『e-ヘルスケアに向けた バイオセンシングの展開』 民谷 栄一 (国研) 産業技術総合研究所 PhotoBIO-OIL ラボ長 | 20分 |
| 3. | 『超聴診器による遠隔医療』 | 多田 款 AMI (株) CEO 室 | 10分 |
| 4. | 『エクソソームバイオマーカープラットフォーム』 | 小野瀬 隆一 Craif (株) 代表取締役社長 CEO | 10分 |
| 5. | 『電気化学免疫測定法「GLEIA」が POCT の未来を切りひらく』 | 杉原 宏和 (株)イムノセンス CEO | 10分 |
| 6. | 『脳波の情報価値をいかに最大化するか』 | 松原 秀樹 PGV (株) 代表取締役社長 | 10分 |
| 7. | パネルディスカッション | (準備時間 5分を含む) | 25分 |